

主なご意見等とその対応について

(都) 益城中央線の整備にあたっては、各種説明会をはじめ相談窓口や個別ヒアリング等において地域の皆様方からいただいた様々な意見や課題等に対して、出来る限りお応えできるよう検討を進めているところ。

主な意見とその検討状況について以下のとおり。

凡例：○実施済み又は継続中、△検討中、×対応困難

番号	主な意見	対応
1	早く詳細な計画内容を知りたい(図面では分からない)	⇒計画内容のわかりやすい情報発信 ○益城中央線連絡協議会等へ随時情報提供 ○現地への幅杭設置や地権者への個別説明 △具体的な計画内容の見える化(模型等)(下記2~4、6)
2	道路の横断距離が長くなり危険	⇒歩行者の安全対策検討 △交通島の設置を検討 △高齢者等の歩行速度を考慮した適切な歩行者青時間の設定 △歩行者動線を踏まえた横断施設の配置箇所選定
3	道路拡幅により南北が分断される	⇒沿道施設へのアクセス機能、景観の調和やコミュニティの充実に関する検討 △道路中央に簡易な右折車線相当幅員を配置 △沿道利用や魅力的な道路空間形成を促進する歩行空間、自転車空間及び植栽等の配置工夫
4	安全に通行できる歩行空間を整備してほしい	⇒安全かつ快適な自歩道空間を検討 △工夫した植樹帯配置及び樹種の選定等によるゆとりある歩行空間の確保 ○歩行空間と自転車空間の分離
5	電線の地中化をしてほしい	⇒電線共同溝の整備 △電線共同溝の整備に向けた検討(予備設計実施)
6	バス等の公共交通をより使いやすくしてほしい	⇒利用者及び交通事業者の視点で停留所等の構造を検討 △バス停近くに駐輪場や街区公園を設置 △歩行者・自転車動線とバス乗車場を分離
7	交通量増による沿道への影響が心配	⇒想定される影響の把握と設計へのフィードバック △環境影響調査(騒音や振動調査等)の実施
8	取付町道との出入りが危険	⇒県道と町道との安全かつ円滑な接続検討 ○安全確保のための構造検討(取付部に離合区間(L=13m)を確保、道路勾配見直し等)
9	道路との高低差が大きいと困る!	⇒沿線の土地利用に配慮した縦断計画 ○高低差等に関する地権者への個別説明 ○再建計画の把握とフォロー